

プログラム名		森のうんどう会							
対象年齢		年中・年長（４～６歳）							
ねらい	メッセージ	遊びを通じて自然を体感しよう							
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> ・地面や木の感触 ・葉っぱや枝を踏んだ時の足の感触・音 							
参加者のめやす		幼児 50人		/		支援者 6人			
実施時間		30分							
フィールド									
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園		
実施可能時期									
自然を感じるためのヒント									
時間		活動			配慮・アドバイス アレンジ				
準備					<p>事前に5グループに分けておきましょう。 （４，５歳児合同）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の中までグループで歩いて行きます。目的地に行く道中で、山の中にいる動物などを意識できるように話しておくといいでしょう。園庭と森の違いなどについて話し合うようにしましょう。 				
5分		<p>導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目で見たり、音を聞いたりして足元に葉っぱや木の実、枝があることに気づく 							
10分		<p>葉っぱの玉入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5グループに分かれて、みんなで2回行う 			<p>前もって地面にロープで円をつくり、真ん中に玉入れ用の箱をおいて準備しておきましょう。各グループ一人ずつ補助に付いて援助しましょう。</p> <p>結果は虫あみに入れて葉っぱの量を見せましょう。</p> <p>2度目のロープの円はそのままで、真ん中の箱を小さくするなど工夫しましょう。簡単に玉が箱に入って終了する場合は、支援者が箱を頭の上に乗せて高くするのも良いでしょう。</p> <p>玉入れの後、子どもたちが投げ入れた自然物は、土になることなどを気づけるように話をしましょう。</p>				
									



時間	活動	配慮・アドバイス アレンジ
10分	<p>なりきりゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2～3チームに分かれる ・支援者のかけ声で動物などになりきって変身する <p>イノシシ 木に抱きついて木になりきる</p>  <p>雨 カエルになって地面をジャンプする</p>  <p>クマ 葉っぱを頭に置いて地面になりきる</p> 	<p>なりきりゲームに向けて、森にいる動物の話をしましょう。</p> <p>見本を支援者たちで見せましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><なりきりゲーム>の遊び方</p> <p>支援者の「きーたぞきたぞ」に続いて、子どもたちが「なーにがきたの」を2回繰り返した後に支援者が「イノシシ」「雨」「クマ」の中から一つを言って子どもたちになりきってもらいます。なりきると子どもたちが変身して見えなくなるゲームです。</p> </div> <p>走りにくかった足の感覚や、手で地面や木を触った感触を感じられたことを子どもと共に気づけるように話をすると良いでしょう。</p> 
5分	<p>まとめ</p> <p>いつもの生活の場と足の感触などが違うことに気づく</p>	<p>なりきりゲームの後、子ども達が園庭と自然の森の違いに気づけるように話しをしましょう。</p>
<p>【異年齢への対応】</p> <p>年少：葉っぱの玉入れの箱は、地面に置くほうが良いでしょう。（円は1m50cm位）</p> <p>：なりきりゲームはむつかしいので、変身する動物を言って変身させて、自然物にふれるようにしましょう。</p> <p>年中：</p>		
<p>【園や家庭に帰ってから】</p> <p>園では遊具などに触れることや地面に落ちている物を拾うことで、動物に変身出来るようにしてみましょう。また、触れた物や拾った物について考えさせると良いでしょう。</p>		
準備物・教材等	<p>・ロープ5本 ・虫あみ5本 ・箱5個</p>	

